

令和6年度

事務事業評価シート

【八郷総合支所】

八郷総合支所総務課

市民窓口課

目 次 【 八郷総合支所 】

	課 名	事業名称	ページ
1	八郷総合支所 総務課	総合支所複合施設維持管理経費	P1
2	八郷総合支所 総務課	公用車維持管理経費	P4
3	八郷総合支所 総務課	出張所管理経費	P7
4	八郷総合支所 総務課	さとのひろば整備事業	P10
5	市民窓口課	住民基本台帳事務費	P13
6	市民窓口課	郵便局証明書交付事務費	P16
7	市民窓口課	総合支所納付窓口事務費	P19

令和6年度 事務事業評価シート

担当部		課名
八郷総合支所		総務課（支所）
予算	会計	一般会計
	款	総務費
	項	総務管理費
	目	財産管理費
主な内訳		需用費、役務費、備品購入費

事業名	総合支所複合施設維持管理経費
根拠法令	建築物における衛生環境の確保に関する法律等

1. 事業概要

体系	政 策	09 チャレンジする市役所（行財政改革大綱）		施策としての あるべき 将来の姿	歳出の見直しと削減に加え、適正な歳入を確保することにより、健全な財政運営が行われています。
	施 策	02 経営・財務マネジメントの充実			
目的	顧客 （誰を）	一般来庁者及び職員			
	意図 （どのように）	安全かつ快適に利用できる庁舎を目指します。			
事業の概要		八郷総合支所庁舎及び付属施設の維持に係る管理経費です。			
事業全体 としての課題		庁舎が完成してから20年以上が経過しており、経年劣化による設備の故障など不具合が生じてきています。優先的に行うべき修繕を選定しつつ、安全性の確保を図る必要があります。			
事業としての 将来像		長 期 目 標 （基本構想の計画期間）	庁舎サービス機能の維持管理のため、計画的な改修・修繕を進めます。		
		中 期 目 標 （基本計画の計画期間）	庁舎サービス機能の維持管理のため、計画的な改修・修繕を進めます。		

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度		令和3年度 （過年度）	令和4年度 （過年度）	令和5年度 （過年度）	令和6年度 （現年度）
（決算区分）	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	1,036	
	一般財源	101,723	89,283	79,723	
	決算額計(A)	101,723	89,283	80,759	
（予算区分）	義務的経費	0	0	0	0
	一般行政経費	87,880	92,065	88,168	103,493
	政策的経費	0	0	0	0
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	0	0	-2,638	0
	前年度から繰越	28,853	0	0	0
	次年度へ繰越	0	0	0	0
	予算額計(B)	116,733	92,065	85,530	103,493
執行率(A/B)		87.14%	96.98%	94.42%	0.00%
正規	職員数(人)	3.00	3.00	3.00	
	人件費(C)	21,804	21,804	21,804	
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)		123,527	111,087	102,563	
全体計画 （各年度に実施する事業計画）		◇総合支所維持管理 ・吸収式冷温水機修繕 ・給排水設備修繕	◇総合支所維持管理 ・吸収式冷温水機修繕 ・給排水設備修繕	◇総合支所維持管理 ・吸収式冷温水機修繕 ・給排水設備修繕	◇前年度に同じ ・吸収式冷温水機修繕 ・給排水設備修繕
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	設備管理業務の実施		設備管理業務従事者数（電気工事士（常勤1名）、危険物取扱者（常勤1名）、建築物環境衛生管理技術者（非常勤1名））					名	一般
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			3	3	3	3	3	3
	実績値(b)		3	3	3				
	達成率(b/a)			100.00%	100.00%				
	コスト	決算額(c)	8,580	14,179	17,160				
		内訳	施設清掃・管理・保守保安委託料						
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	8,580	14,179	17,160				
		単位コスト(f/b)	2,860.00	4,726.33	5,720.00				
	指標名 ②		説明等					単位	経費区分
	清掃業務の実施		日常清掃、定期清掃（タイル清掃、カーペット清掃、絨毯清掃、ガラス清掃）の実施回数					回	一般
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			6	6	6	6	6	6
	実績値(b)		6	6	6				
	達成率(b/a)			100.00%	100.00%				
	コスト	決算額(c)	3,960	11,330	12,100				
		内訳	施設清掃・管理・保守保安委託料						
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	3,960	11,330	12,100				
		単位コスト(f/b)	660.00	1,888.33	2,016.67				
	指標名 ③		説明等					単位	経費区分
	電話交換業務の実施		電話交換業務従事者数（常駐2名（8時15分から17時15分まで））（令和5年度より業務が本庁へ一本化）					名	一般
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			2	—	—	—	—	—
	実績値(b)		2	2	0				
	達成率(b/a)			100.00%	%				
	コスト	決算額(c)	4,378	7,231	0				
		内訳	施設電話交換業務等委託料						
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	4,378	7,231	0				
		単位コスト(f/b)	2,189.00	3,615.50					

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	庁舎利用者数	郷の風の年間利用者数				人	令和13年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和13年度	
		目標値(a)		2,900	2,900	2,900	2,900	
		実績値(b)	853	1,140	1,772			
		達成率(b/a)		39.31%	61.11%			
		達成率の評価		達成できていない	達成できていない			
	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標②	電気使用量	八郷総合支所での年間電気使用量				kwh	令和13年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和13年度	
		目標値(a)		600,000	500,000	500,000	490,000	
		実績値(b)	369,220	489,028	504,072			
		達成率(b/a)		122.69%	100.80%			
		達成率の評価		達成できた	概ね達成できた			

5. 事業評価（事業の点検） ※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。		
	庁舎の適切な維持管理を通じて、財政負担の平準化と健全な財政運営を目指すもので、基本施策に合致しています。	● 合致している	○ 検討の余地がある	
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。		
	庁舎の適切な維持管理を通じて、来庁者・職員の安全・安心に資するものであり、基本理念に適合しています。	● 適合している	○ 検討の余地がある	
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。		
	庁舎は行政事務執行の拠点となる場所であり、市の管理は妥当であると考えます。	● 妥当である	○ 検討の余地がある	
	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。		
有効性	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。		
	昨年より庁舎利用者は増えたものの、電気量が増加しています。職員一人ひとりの節電意識を高める必要があります。	○ 達成できている	● 概ね順調に進捗している	
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。		
	庁舎の適正管理によって、コスト削減を図り、健全な財政運営に資するものとなっています。	● 有効につながっている	○ 検討の余地がある	
	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。		
	老朽化した庁舎を計画的に修繕し、長寿命化を図ることで、市民への充実した行政サービスの提供を目指しています。	● 行っている	○ 検討の余地がある	
	効率性	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。	
職員一人ひとりの意識改革を通じ、一定の削減余地はあるものと考えますが、施設維持に係る固定費であり限界があると考えます。		● 既に実施している	○ 検討の余地がある	
活動指標（アウトプット）の効率性		活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。		
庁舎の維持管理のため、適切であると考えます。		● 適切である	○ 検討の余地がある	

6. 事業評価（総括評価） ※該当する選択肢の●を選択

事業の成果 （アウトプット やアウトカムを 踏まえた事業成 果の総括評価）	庁舎の適正な管理を行うことで、来庁者や職員の皆さんが安全・安心に利用できる環境づくりに努めました。			
今後の方向性 （事業の方向 性の具体的な 内容や課題へ の取組等）	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	庁舎の躯体や設備の経年劣化から、修繕・改修を要する箇所が多々見受けられます。庁舎サービス機能の維持管理のため、計画的な対応を進めていきます。			

令和6年度 事務事業評価シート

担当部		課名
八郷総合支所		総務課（支所）
予算	会計	一般会計
	款	総務費
	項	総務管理費
	目	財産管理費
主な内訳		需用費、役務費、備品購入費

事業名	公用車維持管理経費
根拠法令	道路運送車両法 等

1. 事業概要

体系	政策	09 チャレンジする市役所（行財政改革大綱）		施策としての あるべき 将来の姿	歳出の見直しと削減に加え、適正な歳入を確保することにより、健全な財政運営が行われています。
	施策	02 経営・財務マネジメントの充実			
目的	顧客 （誰を）	市職員および公用車			
	意図 （どのように）	行政事務の執行に当たり、必要不可欠な公用車を適切に管理します。			
事業の概要		職員が行政事務を執行するうえで、必要不可欠な公用車を適正に管理し、行政サービスの充実に資するものです。			
事業全体としての課題		走行距離数の高い車両が増え、それに伴い維持管理費が増えています。また、近年、環境意識の高まりから低燃費・低公害車の積極的な導入とともに、車両台数の適正化と効率的な管理が課題となっています。			
事業としての将来像		長期目標 （基本構想の計画期間）	低燃費車、低公害車への転換を目指します。		
		中期目標 （基本計画の計画期間）	効率的な車両の使用と適切な維持管理を目指します。		

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度		令和3年度 （過年度）	令和4年度 （過年度）	令和5年度 （過年度）	令和6年度 （現年度）
（決算額） 財源区分	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	1,808	2,073	1,842	
	決算額計(A)	1,808	2,073	1,842	
（予算額） 経費区分	義務的経費	0	0	0	0
	一般行政経費	2,546	2,581	2,428	2,890
	政策的経費	0	0	0	0
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	0	0	-1	0
	前年度から繰越	0	0	0	0
	次年度へ繰越	0	0	0	0
	予算額計(B)	2,546	2,581	2,427	2,890
執行率(A/B)		71.01%	80.32%	75.90%	0.00%
正規	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	
	人件費(C)	7,268	7,268	7,268	
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)		9,076	9,341	9,110	
全体計画 （各年度に実施する 事業計画）		◇公用車の維持管理	◇公用車の維持管理	◇公用車の維持管理	◇公用車の維持管理
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	定期点検及び継続検査実施		車両の定期点検及び継続検査を遺漏なく実施します。					%	一般
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			100	100	100	100	100	100
	実績値(b)		100	100	100				
	達成率(b/a)			100.00%	100.00%				
	コスト	決算額(c)	1,808	1,326	991				
		内訳	車両修繕、自動車保険料等						
		職員数(人)	1.00	1.00	1.00				
		人件費(d)	7,268	7,268	7,268				
		フルコスト(c+d)(f)	9,076	8,594	8,259				
		単位コスト(f/b)	90.76	85.94	82.59				
	指標名 ②		説明等					単位	経費区分
	公用車稼働率		公用車の使用日数／開庁日数					%	一般
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	実績値(b)		61.0	64.2	66.1				
	達成率(b/a)			91.71%	94.43%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳	—						
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
		単位コスト(f/b)	0.00	0.00	0.00				
	指標名 ③		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0				
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
		単位コスト(f/b)							

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	運行支障件数	共用車の運行中に発生した支障件数 (支障なく運行できている場合は件数ゼロ)				件	令和13年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和13年度	
		目標値(a)		0	0	0	0	
		実績値(b)	0	0	0			
		達成率(b/a)		100%	100%			
		達成率の評価		達成できた	達成できた			
	最終目標②	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
								令和0年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和0年度	
		目標値(a)		0	0	0		
		実績値(b)	0	0	0			
		達成率(b/a)		%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検）※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。		
	公用車の適正管理を通じてランニングコストを抑制し、健全な財政運営を目指すもので、基本施策に合致しています。	☒ 合致している ☐ 検討の余地がある		
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。		
	公用車は行政事務を遂行するうえで必要不可欠なものであり、その管理を適切に行う本業務は、基本理念に適合していると言えます。	☒ 適合している ☐ 検討の余地がある		
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。		
	公用車は行政事務執行のため所有する財産であり、その管理に市が関与するのは、妥当と考えます。	☒ 妥当である ☐ 検討の余地がある		
	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。		
有効性	行政事務執行のため、必要不可欠な事業ですが、人口減少対策等に結び付くものではありません。	☐ 効果がある ☐ 検討の余地がある ☒ 事業の性質上対象とならない		
	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。		
	公用車の支障件数はゼロで、中期の目標である効率的な車両の使用、適切な維持管理を達成しています。長期目標については、引き続き車両更新の時期を見て低燃費車、低公害車への転換を検討していきます。	☒ 達成できている ☐ 概ね順調に進捗している ☐ 目標に向かっていない		
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。		
	公用車を適正に管理することで、職員が業務執行に必要な車両を安全に稼働できるよう努めています。	☒ 有効につながっている ☐ 検討の余地がある		
	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。		
	更新時期が来た車両は低燃費・低公害車へと切り替えられないか、検討を進めています。	☒ 行っている ☐ 検討の余地がある		
効率性	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。		
	職員一人ひとりの意識改革を通じ、一定の削減余地はあるものと考えますが、車両維持に係る経費が主であり、限界があると考えます。	☒ 既の実施している ☐ 検討の余地がある ☐ 検討の余地はない		
	活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。		
	業務執行に必要な車両を管理するため、適切であると考えます。	☒ 適切である ☐ 検討の余地がある		

6. 事業評価（総括評価）※該当する選択肢の●を選択

事業の成果（アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価）	行政事務を執行するうえで、公用車は必要不可欠なものであり、使用に際して不具合・故障がないよう、適正な管理に努めています。			
今後の方向性（事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等）	事業の方向性	☒ 継続実施（変更なし）	☐ 見直し検討	☐ 事業終了
	公用車の適切な管理に努めるとともに、更新時期が来た車両については、低燃費・低公害車の積極的な導入を検討していきます。			

令和6年度 事務事業評価シート

担当部		課名
八郷総合支所		総務課（支所）
予算	会計	一般会計
	款	総務費
	項	総務管理費
	目	諸費
主な内訳		報酬、期末手当等、旅費

事業名	出張所管理経費
根拠法令	

1. 事業概要

体系	政 策	09 チャレンジする市役所（行財政改革大綱）	施策としての あるべき 将来の姿	歳出の見直しと削減に加え、適正な歳入を確保することにより、健全な財政運営が行われています。
	施 策	02 経営・財務マネジメントの充実		
目的	顧客 （誰を）	出張所利用者		
	意図 （どのように）	地域格差のない、公平・公正な行政サービスの提供を通じて市の魅力を高めます。		
事業の概要		地域格差のない、公平・公正な行政サービスの提供のため、園部出張所を管理運営する事業です。		
事業全体 としての課題		公金・公印を取り扱うことから、適切な管理体制が求められます。		
事業としての 将来像	長 期 目 標 （基本構想の計画期間）	出張所の適切な運営を目指すとともに、今後の方向性を研究・検討していきます。		
	中 期 目 標 （基本計画の計画期間）	出張所の適切な運営を目指すとともに、今後の方向性を研究・検討していきます。		

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度		令和3年度 （過年度）	令和4年度 （過年度）	令和5年度 （過年度）	令和6年度 （現年度）
（決算区分）	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	2,328	2,283	2,482	
	決算額計(A)	2,328	2,283	2,482	
（予算区分）	義務的経費	2,190	2,226	2,249	2,794
	一般行政経費	163	171	176	215
	政策的経費	0	0	0	0
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	0	0	395	0
	前年度から繰越	0	0	0	0
	次年度へ繰越	0	0	0	0
	予算額計(B)	2,353	2,397	2,820	3,009
執行率(A/B)		98.94%	95.24%	88.01%	0.00%
正規	職員数(人)	1.00	1.00	1.00	
	人件費(C)	7,268	7,268	7,268	
会計年度任用職員(人)		2.00	2.00	3.00	
フルコスト(A+C)		9,596	9,551	9,750	
全体計画 （各年度に実施する 事業計画）		◇出張所嘱託職員報酬 ◇施設夜間警備業務委託	◇出張所嘱託職員報酬 ◇施設夜間警備業務委託	◇出張所嘱託職員報酬 ◇施設夜間警備業務委託	◇出張所嘱託職員報酬 ◇施設夜間警備業務委託
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	証明書の発行種類数		出張所で取り扱う発行証明書の種類数					種類	義務
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			11	11	11	11	11	11
	実績値(b)		11	11	11				
	達成率(b/a)			100.00%	100.00%				
	コスト	決算額(c)	2,353	2,283	2,482				
		内訳	出張所事務員報酬等						
		職員数(人)	1.00	1.00	1.00				
		人件費(d)	7,268	7,268	7,268				
		フルコスト(c+d)(f)	9,621	9,551	9,750				
		単位コスト(f/b)	874.64	868.27	886.36				
活動指標	指標名 ②		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0				
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
		単位コスト(f/b)							
活動指標	指標名 ③		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0				
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
		単位コスト(f/b)							

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	証明書発行件数	出張所で発行する証明書の件数				件	令和9年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
		目標値(a)		2,700	2,700	2,700	2,700	
		実績値(b)	2,116	1,898	1,711			
		達成率(b/a)		70.3%	63.3%			
		達成率の評価		達成できていない	達成できていない			
	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標②							令和0年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和0年度	
		目標値(a)		0	0	0		
		実績値(b)	0	0	0			
		達成率(b/a)		%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検）※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。			
	地域格差のない、公平・公正な行政サービスを提供することで、市の魅力を高め、住み続けたいまちづくりを目指すもので、基本施策に合致します。		● 合致している	○ 検討の余地がある	
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。			
	地域格差のない、公平・公正な行政サービスを提供することで、市の魅力を高め、住み続けたいまちづくりを目指すもので、基本理念に適合します。		● 適合している	○ 検討の余地がある	
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。			
	瓦会郵便局で実施している自治体事務の委託の効果を計り、出張所の方向性やあり方を検討していきます。		○ 適合している	● 検討の余地がある	
	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。			
有効性	市民へ充実した行政サービスを提供することは、市の魅力を高め、人口減少対策につながるものと考えます。		● 効果がある	○ 検討の余地がある	○ 事業の性質上対象とならない
	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。			
	証明書の発行件数は減少したものの、地域格差のない、公平・公正な行政サービスを提供するため、様々な事務に対応し、出張所の適正な管理・運営を進めています。		○ 達成できている	○ 概ね順調に進捗している	● 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。			
	出張所で証明書を発行することで、市民の利便性につなげています。		● 有効につながっている	○ 検討の余地がある	
	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。			
	瓦会郵便局で実施している自治体事務の委託の効果を計り、出張所の方向性やあり方を検討していきます。		● 行っている	○ 検討の余地がある	
効率性	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。			
	瓦会郵便局で実施している自治体事務の委託の効果を計り、出張所の方向性やあり方を検討していきます。		○ 既に実施している	● 検討の余地がある	○ 検討の余地はない
	活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。			
	地域格差のない、公平・公正な市民サービスを提供する点から、適切と考えます。		● 適切である	○ 検討の余地がある	

6. 事業評価（総括評価）※該当する選択肢の●を選択

事業の成果（アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価）	利用者は減少したものの、多方面から利用者がおり、公平・公正な行政サービスの提供という点で一定の成果をあげています。			
今後の方向性（事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等）	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	瓦会郵便局で実施している自治体事務の委託の効果を計り、出張所の方向性やあり方を検討していきます。			

令和6年度 事務事業評価シート

担当部		課名
八郷総合支所		総務課（支所）
予算	会計	一般会計
	款	総務費
	項	総務管理費
	目	財産管理費
主な内訳		工事請負費

事業名	さとのひろば整備事業
根拠法令	

1. 事業概要

体系	政 策	06 子育て・教育・学び	施策としての あるべき 将来の姿	家庭への情報提供や学びの場の整備、小学生の放課後支援等の 子育て環境の充実を通して、保護者が安心して子育てをし、子どもが心身ともに健康に育っています。
	施 策	03 子育て家庭支援の充実		
目的	顧客 (誰を)	さとのひろば利用者		
	意図 (どのように)	さとのひろばの遊具等を充実させ、子育てしやすい環境づくりを進めます。		
事業の概要		八郷総合支所複合施設に隣接するさとのひろばに遊具等を充実させ、誰もが一緒に楽しめる広場として整備することで、子育てしやすい環境づくりを推進します。		
事業全体 としての課題		さとのひろばを広く市民は周知していく必要があります。		
事業としての 将来像	長 期 目 標 (基本構想の計画期間)	さとのひろばの遊具等を充実させ、子育てしやすい環境づくりを目指します。		
	中 期 目 標 (基本計画の計画期間)	さとのひろばの遊具等を充実させ、子育てしやすい環境づくりを目指します。		

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度		令和3年度 (過年度)	令和4年度 (過年度)	令和5年度 (過年度)	令和6年度 (現年度)
(決算額)	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	5,140	
	一般財源	0	0	0	
	決算額計(A)			5,140	
(予算額)	義務的経費	0	0	0	0
	一般行政経費	0	0	0	0
	政策的経費	0	0	0	0
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	0	0	14,311	0
	前年度から繰越	0	0	0	7,730
	次年度へ繰越	0	0	7,730	0
	予算額計(B)	0	0	6,581	7,730
執行率(A/B)		0.00%	0.00%	78.10%	0.00%
正規	職員数(人)	0.00	0.00	1.00	
	人件費(C)	0	0	7,268	
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)				12,408	
全体計画 (各年度に実施する 事業計画)				◇さとのひろば遊具等設置工事	◇さとのひろば遊具等設置工事
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	さとのひろば遊具等設置工事		さとのひろば遊具等設置工事の実施回数					回	一般
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			—	1	1	—	—	—
	実績値(b)		—	—	0				
	達成率(b/a)			%	0.00%				
	コスト	決算額(c)			514				
		内訳		遊具設置工事					
		職員数(人)			1.00				
		人件費(d)		0	0	7,268			
		フルコスト(c+d)(f)				7,782			
		単位コスト(f/b)							
	指標名 ②		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)								
	実績値(b)								
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)							
		内訳							
		職員数(人)							
		人件費(d)		0	0	0			
		フルコスト(c+d)(f)							
		単位コスト(f/b)							
	指標名 ③		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)								
	実績値(b)								
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)							
		内訳							
		職員数(人)							
		人件費(d)		0	0	0			
		フルコスト(c+d)(f)							
		単位コスト(f/b)							

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	さとのひろば遊具等整備箇所数	さとのひろば遊具等整備箇所数				箇所	令和6年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度	
		目標値(a)		—	1	1	1	
		実績値(b)	—	—	0			
		達成率(b/a)		%	0%			
		達成率の評価			達成できていない			
	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標②							令和0年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和0年度	
		目標値(a)						
		実績値(b)						
		達成率(b/a)		%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検）※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。		
	さとのひろばの遊具等を充実させ、子育てしやすい環境づくりを目指すもので、基本施策に合致しています。		● 合致している	○ 検討の余地がある
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。		
	さとのひろばの遊具等を充実させ、子育てしやすい、選ばれるまちづくりを目指すもので、基本理念に適合しています。		● 適合している	○ 検討の余地がある
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。		
	公的スペースを活用し、環境整備を図るもので、市の関与は不可欠です。		● 妥当である	○ 検討の余地がある
有効性	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。		
	さとのひろばの遊具等を充実させ、子育てしやすい環境づくりを目指す取り組みで、人口減少対策にも効果的な事業であると言えます。		● 効果がある	○ 検討の余地がある ○ 事業の性質上対象とならない
	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。		
	遊具等の納品が想定より遅れたため、次年度の事業完了を見込んでいます。		○ 達成できている	● 概ね順調に進捗している ○ 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。		
	事業によりさとのひろばが充実し、より子育てしやすい環境づくりが図られます。		● 有効につながっている	○ 検討の余地がある
効率性	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。		
	子育てしやすい環境づくりは、市の最重要課題のひとつであり、その課題解決のため、事業展開を図っています。		● 行っている	○ 検討の余地がある
	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。		
	事業の遅れは全国的な資材不足が一因であり、これ以上、効率的な展開の余地はありません。		● 既に実施している	○ 検討の余地がある ○ 検討の余地はない
活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。			
	適切な管理のもと、事業を実施しており、指標は適切と考えます。		● 適切である	○ 検討の余地がある

6. 事業評価（総括評価）※該当する選択肢の●を選択

事業の成果（アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価）	遊具等の納品が想定より遅れたため、今年度での事業完了には至りませんでした。次年度の完成を目指し事業を進めていきます。			
今後の方向性（事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等）	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	遊具等の納品が想定より遅れたため、今年度での事業完了には至りませんでした。次年度の完成を目指し事業を進めていきます。			

令和6年度 事務事業評価シート

担当部		課名
八郷総合支所		市民窓口課（支所）
予算	会計	一般会計
	款	総務費
	項	戸籍住民基本台帳費
	目	戸籍住民基本台帳費
主な内訳		報酬、職員手当等、旅費

事業名	住民基本台帳事務費
根拠法令	住民基本台帳法

1. 事業概要

体系	政 策	09 チャレンジする市役所（行財政改革大綱）	施策としてのあるべき将来の姿	仕事にやりがいを持ち、自ら考え、学び、行動することで、市民に信頼される職員が育成・確保されています。チャレンジ意欲のある職員により高度化・多様化する行政サービスへの需要への対応ができています。
	施 策	01 組織・人材マネジメントの充実		
目的	顧客（誰を）	現在、市に在住している方、これから市に転入してくる方		
	意図（どのように）	より分かりやすく温かみのある窓口対応の実現		
事業の概要		住民登録異動等（転入・転出・転居等）、住民登録に係る証明、戸籍届出書受付（出生・死亡・婚姻・離婚等）、戸籍に係る証明、印鑑登録・廃止、自動車臨時運行許可番号標識（仮ナンバー）の貸与、個人番号カード交付・申請、軽自動車標識交付・廃止。市税等の収納及び各種証明書の交付などを行っています。		
事業全体としての課題		広範囲にわたる取扱業務に対応するため、各職員が専門性を高め正確な事務執行と事務処理能力を向上させる必要があります。また、証明書交付・届出書受付の際の本人確認を徹底する必要があります。開庁時間の延長など窓口サービスの利便性向上を目指します。		
事業としての将来像		長 期 目 標 （基本構想の計画期間）	本庁にある広範な窓口機能を支所においては1つの課に集約することで、より一層の庁舎機能・窓口機能の充実を目指します。	
		中 期 目 標 （基本計画の計画期間）	事務処理能力の向上、窓口及び電話対応のスキルアップに努めることにより、市民サービスの充実を目指します。	

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度		令和3年度 （過年度）	令和4年度 （過年度）	令和5年度 （過年度）	令和6年度 （現年度）
（決算区分）	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	4,915	5,028	7,107	
	決算額計(A)	4,915	5,028	7,107	
（予算区分）	義務的経費	0	0	7,472	9,302
	一般行政経費	5,283	5,301	0	0
	政策的経費	0	0	0	0
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	0	0	4	0
	前年度から繰越	0	0	0	0
	次年度へ繰越	0	0	0	0
	予算額計(B)	5,283	5,301	7,476	9,302
執行率(A/B)		93.03%	94.85%	95.06%	0.00%
正規	職員数(人)	2.65	2.55	2.55	
	人件費(C)	19,261	18,534	18,534	
会計年度任用職員(人)		2.25	2.25	2.25	
フルコスト(A+C)		24,176	23,562	25,641	
全体計画 （各年度に実施する事業計画）		◇住民基本台帳事務 ◇マイナンバーカード交付更新	◇住民基本台帳事務 ◇マイナンバーカード交付更新	◇住民基本台帳事務 ◇マイナンバーカード交付更新	◇住民基本台帳事務 ◇マイナンバーカード交付更新
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	取り扱い業務数		総合窓口として取り扱っている事務数					事務	義務
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			48	48	48	48	48	48
	実績値(b)		48	48	48				
	達成率(b/a)			100.00%	100.00%				
	コスト	決算額(c)	4,915	5,028	7,107				
		内訳	—						
		職員数(人)	2.65	2.55	2.55				
		人件費(d)	19,260	19,260	18,534				
		フルコスト(c+d)(f)	24,175	24,288	25,641				
		単位コスト(f/b)	503.65	506.00	534.19				
活動指標	指標名 ②		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0				
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
		単位コスト(f/b)							
活動指標	指標名 ③		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0				
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
		単位コスト(f/b)							

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	窓口申請平均利用者件数	1日当たりの窓口対応に当たる件数				件	令和9年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
		目標値(a)		200	200	200	200	
		実績値(b)	203	211	185			
		達成率(b/a)		105.5%	92.5%			
		達成率の評価		達成できた	概ね達成できた			
	最終目標②	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式			単位	達成年度
								令和0年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和0年度	
		目標値(a)		0	0	0		
		実績値(b)	0	0	0			
		達成率(b/a)		%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検） ※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。		
	窓口において住民と直接対応する事業であり、基本施策「組織・人材マネジメントの充実」に合致しているといえます。		● 合致している	○ 検討の余地がある
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。		
	仕事にやりがいを持ち、自ら考え、学び、行動することで市民に信頼される職員が育成・確保されるものであり、基本理念に適合した事業展開を図っています。		● 適合している	○ 検討の余地がある
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。		
	窓口サービス充実のため、限られた人数で対応力向上を図るものであり、市の関与は妥当です。		● 妥当である	○ 検討の余地がある
有効性	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。		
	窓口サービスを提供することで、市民の利便性の向上が図られることから、人口減少対策として寄与しています。		● 効果がある	○ 検討の余地がある ○ 事業の性質上対象とならない
	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。		
	限られた人数で広範囲にわたる取り扱い業務に対応しています。		○ 達成できている	● 概ね順調に進捗している ○ 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。		
	限られた人数で広範囲にわたる取扱業務に対応していると考えられるものであり、アウトカムに有効につながっていると言えます。		● 有効につながっている	○ 検討の余地がある
効率性	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。		
	限られた人数で広範囲にわたる取扱業務に対応しており、変化する社会情勢に対応した行政サービスを維持するものとして、地域住民のニーズを反映しています。		● 行っている	○ 検討の余地がある
	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。		
	限られた人数で広範囲にわたる取扱業務に対応するため、各職員が専門性を高め正確な事務執行と事務処理能力を向上するよう取り組んでいます。常陽銀行柿岡派出所の廃止など変化する社会情勢にも対応しています。		● 既に実施している	○ 検討の余地がある ○ 検討の余地はない
活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。			
	会計年度任用職員の活用による事業実施により、最小の経費で事業を実施していると言えます。		● 適切である	○ 検討の余地がある

6. 事業評価（総括評価） ※該当する選択肢の●を選択

事業の成果 （アウトプット やアウトカムを 踏まえた事業成 果の総括評価）	限られた人数で広範囲にわたる取扱業務に対応し続けることができる組織であるために、職員一人ひとりの意識を高めることや知識、能力、対応力の向上に努めています。また、恋瀬出張所の廃止や常陽銀行柿岡派出所の廃止など社会情勢の変化に対応しています。			
今後の方向性 （事業の方向 性の具体的な 内容や課題へ の取組等）	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	今後も限られた人数で広範囲にわたる取扱業務に対応し続けることができる組織であるために、職員一人ひとりの意識を高めることや知識、能力、対応力の向上に努めてまいります。一方、各職員への負担が増しており、風通しの良い職場づくりが重要となってきます。			

令和6年度 事務事業評価シート

担当部		課名
八郷総合支所		市民窓口課（支所）
予算	会計	一般会計
	款	総務費
	項	戸籍住民基本台帳費
	目	戸籍住民基本台帳費
主な内訳		委託料、使用料及び賃借料、役務費

事業名	郵便局証明書交付事務費
根拠法令	地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律

1. 事業概要

体系	政 策	09 チャレンジする市役所（行財政改革大綱）		施策としてのあるべき将来の姿	地域をより良くしようとする共通の目的を背景に周辺自治体や民間、教育機関等との連携が進み、お互いの得意分野を活かした効率的で効果的な行政運営が行われています。
	施 策	04 広域連携と協働によるイノベーションの推進			
目 的	顧客（誰を）	現在市に在住している方、これから市に転入してくる方			
	意図（どのように）	恋瀬出張所の廃止に伴い、近隣の瓦会郵便局へ業務を委託し住民サービスの維持を図ります。			
事業の概要		地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律の規定に基づき、市内の郵便局において証明書等の交付等の事務を取り扱います。恋瀬出張所の廃止に伴い、地域住民の利便性の維持を図るため、瓦会郵便局へ業務を委託するものです。			
事業全体としての課題		周辺住民の利便性の維持を目的として事業を実施していますが、より効率的な事業実施と、市民の日常生活圏域の拡大等に伴う継続の必要性など検討の余地があります。			
事業としての将来像		長 期 目 標 （基本構想の計画期間）	市民サービス維持のため郵便局へ業務を委託することで、行政サービスの維持を図ります。		
		中 期 目 標 （基本計画の計画期間）	市民サービス維持のため郵便局へ業務を委託することで、行政サービスの維持を図ります。		

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度		令和3年度 （過年度）	令和4年度 （過年度）	令和5年度 （過年度）	令和6年度 （現年度）
（決算区分）	国庫支出金	0	0	421	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	19	
	一般財源	821	579	314	
	決算額計(A)	821	579	754	
（予算区分）	義務的経費	0	0	0	0
	一般行政経費	0	0	0	0
	政策的経費	1,177	747	891	816
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	0	-3	0	0
	前年度から繰越	0	0	0	0
	次年度へ繰越	0	0	0	0
	予算額計(B)	1,177	744	891	816
執行率(A/B)		69.75%	77.82%	84.62%	0.00%
正規	職員数(人)	0.50	0.50	0.50	
	人件費(C)	3,634	3,634	3,634	
会計年度任用職員(人)		0.00	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)		4,455	4,213	4,388	
全体計画 （各年度に実施する事業計画）		◇瓦会郵便局への特定の事務委託	◇瓦会郵便局への特定の事務委託	◇瓦会郵便局への特定の事務委託	◇瓦会郵便局への特定の事務委託
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	適切な証明書等の交付		瓦会郵便局での証明書等交付事務が適切に行われている割合（交付誤り等の防止）					件	政策
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			100	100	100	100	100	—
	実績値(b)		100	100	100				
	達成率(b/a)			100.00%	100.00%				
	コスト	決算額(c)	821	579	754				
		内訳	郵便局証明書交付事務委託料 等						
		職員数(人)	0.50	0.50	0.50				
		人件費(d)	3,634	3,634	3,634				
		フルコスト(c+d)(f)	4,455	4,213	4,388				
		単位コスト(f/b)	44.55	42.13	43.88				
	指標名 ②		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0				
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
		単位コスト(f/b)							
	指標名 ③		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0				
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
		単位コスト(f/b)							

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	年間交付件数	瓦会郵便局での証明書等の年間交付件数				件	令和8年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和8年度	
		目標値(a)		137	137	137	137	
		実績値(b)	137	89	61			
		達成率(b/a)		64.96%	44.53%			
		達成率の評価		達成できていない	達成できていない			
	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標②							令和0年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和0年度	
		目標値(a)		0	0	0		
		実績値(b)	0	0	0			
		達成率(b/a)		%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検）※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。		
	恋瀬出張所廃止に伴い、市内郵便局と連携した事業であり、基本施策「広域連携と協働によるイノベーションの推進」に合致していると言えます。		● 合致している	○ 検討の余地がある
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。		
	本事業は、市内郵便局と連携し地域住民の利便性を維持するものであり、基本理念に適合した事業展開を図っています。		● 適合している	○ 検討の余地がある
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。		
	恋瀬出張所の廃止に伴う行政サービスの維持を図るものであり、市の関与は妥当です。		● 妥当である	○ 検討の余地がある
有効性	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。		
	周辺市民への利便性向上の維持により、少なからず人口減少対策として寄与しています。		● 効果がある	○ 検討の余地がある ○ 事業の性質上対象とならない
	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。		
	証明書の発行件数は減少したものの、地域格差のない、公平・公正な行政サービスを提供するため、様々な事務に対応し、出張所の適正な管理・運営を進めています。		○ 達成できている	○ 概ね順調に進捗している ● 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。		
	証明書等の交付を確実に実施することで、周辺住民の利便性の維持に寄与し、交付件数の増加につながると考えており、有効につながっています。		● 有効につながっている	○ 検討の余地がある
効率性	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。		
	恋瀬出張所の廃止に伴う行政サービスの維持を図るものとして、地域住民のニーズを反映しています。		● 行っている	○ 検討の余地がある
	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。		
	市と郵便局が相互に連携して、出張所廃止に伴う行政サービスの維持を図ったものであり、利用件数の推移を見て継続を検討する余地があります。		○ 既に実施している ● 検討の余地がある ○ 検討の余地はない	
活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。			
	恋瀬出張所廃止に伴う代替手段として、最小の経費で事業を実施しているといえます。		● 適切である ○ 検討の余地がある	

6. 事業評価（総括評価）※該当する選択肢の●を選択

事業の成果（アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価）	市を取り巻く社会情勢の変化と市民の声に応えた事業として、地元の郵便局と連携し行政サービスの低下を防ぐことができました。また、市民の日常生活圏の拡大等に伴う継続の必要性など検討の余地もありました。			
今後の方向性（事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等）	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	今後も市を取り巻く社会情勢の変化と市民の声に応え、地元の郵便局と連携して行政サービスの維持を図ります。また、地域住民の利便性の確保と効果的で効率的な行政運営の観点から、事業が取り組まれています。市民の日常生活圏に則した事業実施を行う等、今後検討していく課題があります。			

令和6年度 事務事業評価シート

		担当部	課名
		八郷総合支所	市民窓口課（支所）
事業名	総合支所納付窓口事務費	予 算	会計 一般会計
			款 総務費
			項 総務管理費
			目 会計管理費
根拠法令	地方自治法、石岡市財務規則	主な内訳	委託料、需用費

1. 事業概要

体系	政 策	09 チャレンジする市役所（行財政改革大綱）		施策としての あるべき 将来の姿	歳出の見直しと削減に加え、適正な歳入を確保することにより、健全な財政運営が行われています。
	施 策	02 経営・財務マネジメントの充実			
目 的	顧客 （誰を）	現在市に在住している方、これから市に転入してくる方			
	意図 （どのように）	八郷総合支所での収納業務を継続し住民サービスの維持を図ります。			
事業の概要		令和３年４月１日から常陽銀行柿岡支店のリテールステーション化に伴い、八郷総合支所内の常陽銀行柿岡派出所が廃止となりました。それを受け、八郷総合支所での収納業務を継続させるために実施するものです。			
事業全体 としての課題		常陽銀行柿岡派出所の廃止により、窓口業務への負担が増加しています。			
事業としての 将来像		長 期 目 標 （基本構想の計画期間）	口座振替や市内金融機関等での納付に加え、八郷総合支所での納付を維持することで、納付しやすい環境の維持を図ります。		
		中 期 目 標 （基本計画の計画期間）	口座振替や市内金融機関等での納付に加え、八郷総合支所での納付を維持することで、納付しやすい環境の維持を図ります。		

2. 投入量（インプット）

（単位：千円）

年度		令和3年度 (過年度)	令和4年度 (過年度)	令和5年度 (過年度)	令和6年度 (現年度)
(決算区分)	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	2,279	2,910	2,892	
	決算額計(A)	2,279	2,910	2,892	
(予算区分)	義務的経費	2,568	2,993	0	0
	一般行政経費	0	0	2,993	3,531
	政策的経費	0	0	0	0
	公共施設経費	0	0	0	0
	補正等	0	0	0	0
	前年度から繰越	0	0	0	0
	次年度へ繰越	0	0	0	0
	予算額計(B)	2,568	2,993	2,993	3,531
執行率(A/B)		88.75%	97.23%	96.63%	0.00%
正規	職員数(人)	1.60	0.50	0.50	
	人件費(C)	11,629	3,634	3,634	
会計年度任用職員(人)		0.30	0.00	0.00	
フルコスト(A+C)		13,908	6,544	6,526	
全体計画 (各年度に実施する 事業計画)		◇納付窓口事務	◇納付窓口事務	◇納付窓口事務	◇納付窓口事務
財源の種類					

3. 活動指標（アウトプット）

（単位：千円）

活動指標	指標名 ①		説明等					単位	経費区分
	公金の適切な取り扱い		入出金機を通して納付があった公金に対して、適切な収納業務を実施した割合（公金の取り扱いとして適切に処理した割合）					%	一般
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			100	100	100	100	100	100
	実績値(b)		100	100	100				
	達成率(b/a)			100.00%	100.00%				
	コスト	決算額(c)	2,279	2,910	2,892				
		内訳	公金収納支援業務委託料、公金集金業務委託料 等						
		職員数(人)	1.60	0.50	0.50				
		人件費(d)	11,629	3,634	3,634				
		フルコスト(c+d)(f)	13,908	6,544	6,526				
	単位コスト(f/b)		139.08	65.44	65.26				
活動指標	指標名 ②		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0				
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
	単位コスト(f/b)								
活動指標	指標名 ③		説明等					単位	経費区分
	年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標値(a)			0	0	0	0	0	0
	実績値(b)		0	0	0				
	達成率(b/a)			%	%				
	コスト	決算額(c)	0	0	0				
		内訳							
		職員数(人)	0.00	0.00	0.00				
		人件費(d)	0	0	0				
		フルコスト(c+d)(f)	0	0	0				
	単位コスト(f/b)								

4. 成果量（アウトカム）

成果指標	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標①	年間納付件数	八郷総合支所納付窓口で納めた年間納付件数				件	令和9年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度	
		目標値(a)		14,000	14,000	14,000	14,000	
		実績値(b)	14,077	17,232	15,226			
		達成率(b/a)		123.09%	108.76%			
		達成率の評価		達成できた	達成できた			
	項目	指標名	指標設定の考え方及び算式				単位	達成年度
	最終目標②							令和0年度
		年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和0年度	
		目標値(a)		0	0	0		
		実績値(b)	0	0	0			
		達成率(b/a)		%	%			
		達成率の評価						

5. 事業評価（事業の点検）※該当する選択肢の●を選択

適合性・妥当性	上位目標との適合性	事業の目的は、総合計画基本計画で定める基本施策に合致するか。		
	市民へ公平な税負担の維持と自主財源の確保に資する事業であり、基本施策「経営・財務マネジメントの充実」に合致していると言えます。		● 合致している	○ 検討の余地がある
	市の基本理念との適合性	将来像の実現のための基本理念に適合した事業展開を行っているか。		
	本業務は、納付しやすい環境づくりに資するものであり、基本理念に適合した事業展開を図っています。		● 適合している	○ 検討の余地がある
	市の関与の妥当性	市の関与の妥当性があるか。		
	常陽銀行柿岡派出所の廃止に伴う行政サービスの維持を図るものであり、市の関与は妥当です。		● 妥当である	○ 検討の余地がある
有効性	人口減少対策	人口減少・少子高齢化・関係人口増加の対策として効果がある事業であるか。		
	行政サービスの維持を図り、市民の利便性の低下を生じないよう事業を実施していくことで、少なからず人口減少対策として寄与しています。		● 効果がある	○ 検討の余地がある ○ 事業の性質上対象とならない
	成果指標（アウトカム）の達成状況	設定した成果指標（アウトカム）は目標達成に向かっていているか。		
	納付しやすい環境の一つと考えられるものであり、納付件数は目標を達成しています。		● 達成できている	○ 概ね順調に進捗している ○ 目標に向かっていない
	活動指標（アウトプット）の有効性	事業の実施結果である活動指標（アウトプット）は、事業の成果指標（アウトカム）と有効につながっているか。		
	納付しやすい環境の一つと考えられるものであり、アウトカムに有効につながっていると云えます。		● 有効につながっている	○ 検討の余地がある
効率性	課題やニーズを踏まえた事業展開	創意工夫により現状把握を行い、市を取り巻く課題や事業の課題、市民等のニーズを的確にとらえた事業展開を行っているか。		
	常陽銀行柿岡派出所の廃止に伴う行政サービスの維持を図るものとして、様々な市民の声を反映しています。		● 行っている	○ 検討の余地がある
	効果的効率的な事業展開の余地	協働や情報通信技術の活用等により、事業費の削減を含め、より効果的効率的な事業展開の余地があるか。		
	口座振替や市内金融機関及びコンビニエンスストアでの納付を進めるなど、効果的効率的な事業展開の余地があります。		○ 既に実施している	● 検討の余地がある ○ 検討の余地はない
活動指標（アウトプット）の効率性	活動指標（アウトプット）はフルコストで評価した場合、適切と言えるか。			
	常陽銀行柿岡派出所の廃止に伴う代わりの手段として、最小の経費で事業を実施していると言えます。		● 適切である	○ 検討の余地がある

6. 事業評価（総括評価）※該当する選択肢の●を選択

事業の成果（アウトプットやアウトカムを踏まえた事業成果の総括評価）	市を取り巻く社会情勢の変化と市民の声に応えた事業として、税負担の公平性や納付しやすい環境を維持し行政サービスの低下を防ぐことができました。また、口座振替や市内金融機関やコンビニエンスストアでの納付を進めるなど、検討の余地もありました。			
今後の方向性（事業の方向性の具体的な内容や課題への取組等）	事業の方向性	● 継続実施（変更なし）	○ 見直し検討	○ 事業終了
	今後も、市を取り巻く社会情勢の変化と市民の声に応え、税負担の公平性や納付しやすい環境を維持し、行政サービスの維持を図ります。また、口座振替や市内金融機関、コンビニエンスストアでの納付を進めてまいります。			